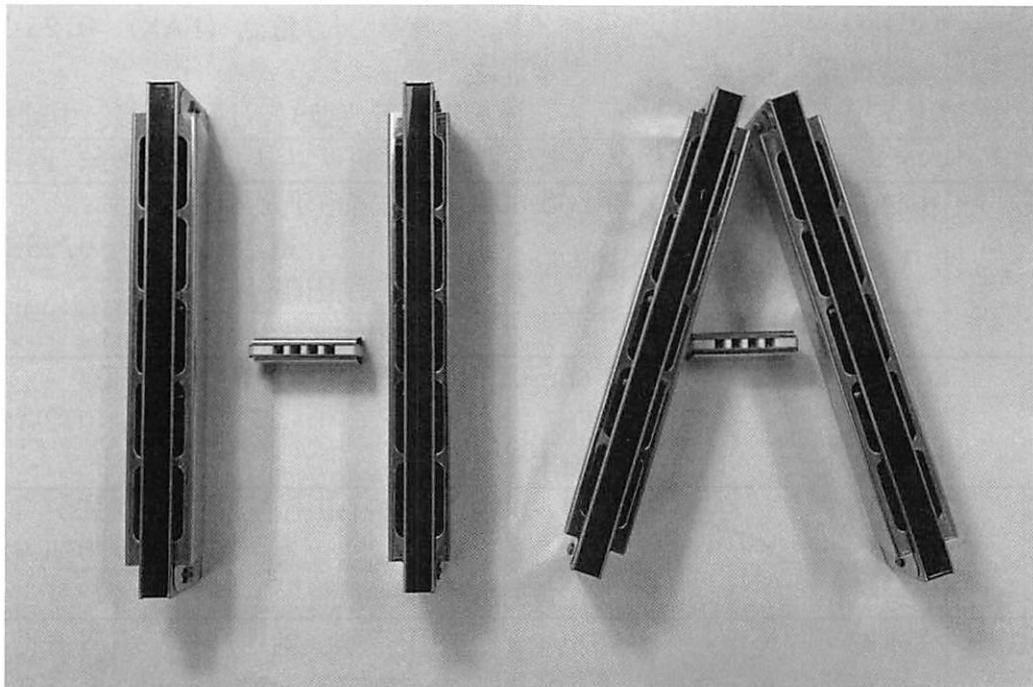


Harmony

NO. 228

2022. 4 月号



新型コロナウイルスの感染が続いており、大阪府に出されていた「まん延防止等重点措置」が延長となりました。228号も簡易版での発行と致します。（編集局）

関西ハーモニカ連盟会報

関西ハーモニカ連盟 組織 2022年3月15日現在

	理事長	吹上 晴彦 〒602-8488 京都市上京区真倉町757-107 電話 (FAX) 075-411-1531、090-8482-4806	19人
	副理事長 (兼)事務局長	源馬 英人 〒520-2101 大津市青山8-6-14 電話 (FAX) 077-549-3329 (事務局次長) 角野まゆみ	
常	副理事長 (兼)事業部長	梁木 進 〒545-0005 堺市東区野尻町192-20 電話 072-284-8808、FAX 072-286-4890 (コンテスト委員長) 梁木 進 中崎利枝子 (兼)、松本孝司 (ハモ祭り委員長) 鐘ヶ江義行 富久鉄男、西本豪介 (兼)、松本千佳子 (兼) (活性化促進委員長) 小川未佐子 新井尚子 (兼)、住田陽子 (兼) (補佐理事: 小野浩子、雑賀健)	
任	編集局長	もり・けん 〒594-0041 和泉市いぶき野4-1-4-209 電話 (FAX) 0725-57-7235 (編集局次長) 岩本洋之 鐘ヶ江義行 (兼)、筒井茂義、中崎利枝子 (補佐理事: 北村サユリ、竹内寿子、西尾好美)	
理	研修部長	小林 由美子 〒662-0046 西宮市千歳町7-42 電話 (FAX) 0798-22-1844 新井尚子、住田陽子、西本豪介 (補佐理事: 小林希久子、永野富康)	
事	組織部長	丸山 茂生 〒666-0122 川西市東多田3-4-1-703 電話 (FAX) 072-793-7164 (組織部次長) 松本千佳子	
	会計部長	木ノ山 洋子 〒617-0006 向日市上植野町南小路26 電話 (FAX) 075-921-6588 角野まゆみ (兼)	
理 事 (50音順)	青木鈴子、稻垣裕子、井上孝子、内田常雄、岡本修子、小河由美 小野浩子、金丸寿夫、加納克芳、喜多創平、北村サユリ、木原淳 黒谷マス子、源馬恵子、小林希久子、小林美津子、雑賀健、佐藤長 柴田正之、園真佳、高阪他美子、高山美千代、田口史郎、田口幸輝 竹内寿子、谷口昌子、中谷晃、永野富康、新山ミツ子、西尾好美 新田真理、服部恵美子、羽田勝彦、羽原伸示、林和子、福島隆志 藤野つるみ、保理江元子、松岡郁子、松本忠義、渡辺晃志、和谷篤樹	42人	
会計監査	柴田正之		1人
常任顧問 (50音順)	梅田恒弘、後藤貞男、寺村安雄、仲村眞、村上博昭、吉村則次		6人
顧 問 (50音順)	(該当者なし)		
特別顧問 (50音順)	斎藤壽孝、十河陽一、徳永延生、水野隆元、和谷泰扶		5人

関西ハーモニカ連盟 Harmony 第 228 号

(2022 年 4 月号) 発行部数 400 毎年 1、4、7、10 月に発行

目次

<u>令和 4 年 新年ご挨拶</u>	理事長	吹上晴彦	2
<u>2022 年度文書総会報告</u>	事務局長	源馬英人	3
<u>2022 年度 研修会のご案内</u>	研修部長	小林由美子	5
<u>ハーモニカカレンダー</u>	編集局		6
<u>関西ハーモニカ連盟主催 ハーモニカ交流会 2022 事業部</u>	事業部	梁木 進	7
全員合奏は「この木なんの木」と「よろこびの歌」			
<u>=吉村教室合同発表会=</u>		吉村則次	9
『3 人のハーモニカ・ジョイント・リサイタル 2022』			
<u>を終えて</u>		小野浩子	10
<u>くらわんかカルテット (21 年間の演奏活動を振り返る)</u>		山本義信	12
<u>第 1 回全日本ハーモニカ演懐コンクールの実施</u>	梁木 進		14
第 1 回全日本ハーモニカ演懐コンクールの結果			15
第 1 回演懐コンクール受賞者の言葉			16
第 1 回全日本ハーモニカ演懐コンクールを聴いて	竹下暢彦/松本孝司		19
<u>オンラインイベント</u>			
『3 教室合同新春オンラインお雑煮会～お正月ハーモニカ談義～』			
<u>レポート</u>		北村サユリ	20
<u>れんめいひろば</u>	編集局		22
<u>会員異動のお知らせ</u>	組織部長	丸山茂生	24
<u>編集局より</u>			25

令和4年 新年ご挨拶

理事長スローガン 「正心誠意（せいしんせいい）！一誠に帰す」

理事長 吹上 晴彦

ようやく春めいてまいりました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

二年前の定時総会冒頭において、自然災害が相次いだ「平成」から時代は代わり新しい時代「令和」新年の幕開けと申し上げました。そのときに今の状況を予想された方は誰もいないでしょう。その年は、連盟の役員改選期であり、前年に40周年記念事業を終え、50周年に向けての取り組みを課題としました。今年も役員改選期ですが、状況は一変、かつてないパンデミック下です。音楽を愛する者にとって生音（なまおと）を出せない致命的な状況です。今回もやむなく総会を文書総会といたしました。

私は、幼少の頃よりハーモニカ音楽を習っていますが、15歳より身近に接しているものに漢詩があります。以来、京都の流派に所属して朗詠（詩吟）を続けています。

それら漢詩の中に明治天皇の侍講を務めた漢学者 元田永孚（ながざね 号は東野）の「中庸」という七言絶句があります。

「 勇力男兒斃勇力 」

勇力の男児は勇力に斃れ

「 勸君須擇中庸去 」

君に勧む須く中庸を選び去るべし

「 文明才子醉文明 」

文明の才子は文明に酔う

「 天下萬機帰一誠 」

天下の萬機は一誠に帰す

意味は「力を誇る人は力に倒れ、知識や技術に優れた人はそれに溺れる。君に勧めるのは中庸を択ぶ、どのような時でも誠を尽くすことほど大事なことはなく、それを失ってはいけない」

見えない脅威禍、今まで目に映る物品やお金に惑わされてきた生活で見ようとせず、見えなかつた自他の心の動きが今ほどよく見えて、この詩が心に響く時はないと思います。

わたしどもハーモニカ音楽を愛する者にとっても常識が非常識、非常識が常識になり、変えるものと変えないものとの分別（ふんべつ）が求められています。「常識」と「変えないもの」人生でどんな時でも大事なことが「一誠に帰す」ではないでしょうか。

多くの諸先輩の心血をもって創設された連盟が2029年50周年をどのように迎えるかは想像しがたい。しかし、どのような環境、何があっても存続しなければならない。

「種の起源」で進化論を唱えたチャールズ・ダーウィンは、「生き残る種というのは最も強い種でも最も賢い種でもなく、最も変われる種だ」と言っています。「一誠に帰す」を崩すことなく持ち、置かれた環境に応じて柔軟に変化して本連盟を守りたい。

文書総会挨拶でも申し上げましたが私のいつも大切にしていること、その優先順位は「生命（いのち）、健康、志（こころ）」です。よく言われる心・技・体ではなく体・技・心、健康な身体であって、ハーモニカ演奏ができ、技術も磨け、演奏に心を込められます。みなさまにおかれましても、どうか健康にご留意の上、連盟へ更なるお力添えをお願い申し上げます。

このような時だからこそハーモニカ音楽への取り組みを難しくすることなく、素（す）となる心を持つ、「正心誠意！」です。皆様とご一緒に50周年に向かう、何ら難しいことではなく単純明快、正心（心を正しくすること）誠意（嘘偽りのない心）をもって歩みを進めたいと願っています。

いま私は、自分の足で一步一步、ゆっくりと大地を感じながら踏みしめています。総会議案の中間総括で概ね皆様のご承認をいただきました今期、足元をしっかりと踏みしめて先を目指すようどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

事務局

2022年度文書総会報告

事務局長 源馬英人

2022年度も前年に引き続き、コロナ禍のために定時総会を開催することができず、文書総会となりました。

個人会員及び団体会員代表者の皆様に、理事長挨拶と各議案に関する資料を送り、返信葉書により諾否／賛否をお答え頂きました。各議案に対するご回答の集計結果は以下のとおりです。

各議案の内容については、2月15日発行のハーモニー臨時号をご参照ください。今回総会資料の受取人総数は243人（個人会員206人+団体代表者37人）で3月5日現在での回答者数は161人です。

【1号議案】2021年度事業報告

<諾> 160、 <否> 0、 <棄権／無回答> 1

上記集計結果により、会員の皆様のご承諾を頂いたものとして可決します。

【2号議案】2021年度収支決算報告

<諾> 160、 <否> 0、 <棄権／無回答> 1

上記集計結果により、会員の皆様のご承諾を頂いたものとして可決します。

【3号議案】2022年度事業計画

<賛> 160、 <否> 0、 <棄権／無回答> 1

上記集計結果により、会員の皆様のご賛成を頂いたものとして可決します。

【4号議案】2022年度予算

<賛> 160、 <否> 0、 <棄権／無回答> 1

上記集計結果により、会員の皆様のご賛成を頂いたものとして可決します。

【5号議案】人事異動及び役員選出

□人事異動（報告）

<賛> 160、 <否> 0、 <棄権／無回答> 1

上記集計結果により、会員の皆様のご承諾を頂いたものとして可決します。

□役員選出

岡本修子

<賛> 157、 <否> 0、 <棄権／無回答> 4

上記集計結果により、会員の皆様のご賛成を頂いたものとして可決します。

北村サユリ

<賛> 157、 <否> 0、 <棄権／無回答> 4

上記集計結果により、会員の皆様のご賛成を頂いたものとして可決します。

羽田勝彦

<賛> 157、 <否> 0、 <棄権／無回答> 4

上記集計結果により、会員の皆様のご賛成を頂いたものとして可決します。

※ なお、5号議案について、今回は会長及び会計監査に関し、人事異動（報告）に含めてお示ししましたが、本来は連盟規約が定めるところにより、役員選出の決議事項です。今回の会長及び会計監査の異動に関しまして、改めてご賛同を頂ければ幸いです。会長職については、仲村眞会長のご勇退をもって、今期は空位とします。

また、全役員の任期は2年であり、昨年度終了をもって任期満了となりました。選出の決議事項である理事に関しまして、新規就任者と退任者を除くすべての理事を留任とすることにご賛同願います。常任理事につきましては常任理事会の決議事項であり、新規就任者と退任者を除くすべての常任理事を留任とします。ご承諾ください。

以上をもって2022年度文書総会の報告と致します。3月5日現在でまだ全会員の皆様のご回答が揃ってはおりませんので、中間総括の形となります。この点についてご了承願います。

来年度は定時総会が本来の形で開催されることを切に祈念します。文書総会にご協力ください、ありがとうございました。

2022 年度 研修会のご案内

研修部長 小林由美子

2022 年度も下記の内容で研修会を実施いたしますので、奮ってご参加ください。

会報 1 月号において申込書の FAX 番号を間違えたこと、お詫び申し上げます。下記の番号に訂正させて頂きます。まだお申し込みが出来ていない方がおられましたら、至急お申し込みください(第 1 回は間もなく定員になります)。新ホームページから申込用紙をダウンロードできます。

第 1 回 会 場：愛日会館

大阪市中央区本町 4-7-11

電話 06-6264-4100

第 2 回 の会場は、変更になりました。

会 場：西宮市民会館 1 階会議室

西宮市六湛寺町 10 番 11 号

電話 0798-33-3111

阪神西宮駅市役所口改札北へ徒歩 1 分

JR 西宮駅南出口から西へ徒歩約 10 分

研修時間：14:00～16:30 (毎回)

参加費：会場にてお支払い下さい。

会員 1,500 円、非会員 2,500 円

人 数：50 名 (先着順、予約必要です)

申込先：西本豪介 FAX 06-6785-7775

第 1 回

<日 程> 5 月 15 日 (日)

<講 師> 徳永延生、徳永有生 (クロマチックハーモニカ奏者)

<内 容> テーマ：

- 1、クロマチックハーモニカの魅力
- 2、デュオの魅力
- 3、バスクロマチックの魅力

詳細は会報 227 号(1 月号)をご覧下さい。

<持参していただくハーモニカ>

クロマチックハーモニカ、お持ちでない方は複音ハーモニカ C、C#

第 2 回

<日 程> 7 月 10 日 (日)

<講 師> 水野隆元 (複音ハーモニカ奏者)

<内 容> テーマ：「音のコントロール」

スタッカート、スラー、クレッシェンドなど、楽譜によく出てくる指示を、簡単なフレーズを使って実際に音に現す体験をします。

<持参していただくハーモニカ> C、Am

<講師プロフィール>

複音ハーモニカを岩崎重昭氏に師事、音楽全般を甲賀一宏氏に師事。

F.I.H.JAPAN(1991)、アジア・太平洋(台湾・1996)、世界大会(ドイツ・1997)、全てのコンテストにおいて複音ハーモニカソロ部門、第一位。現在、作曲家と共に、複音ハーモニカのオリジナル曲を残すことを目的に活動。

日本ハーモニカ芸術協会理事、師範、複音ハーモニカコンクール審査員、グレード審査員、関西ハーモニカ連盟特別顧問、全日本ハーモニカ連盟副理事長、F.I.H.JAPAN 審査員

第 3 回

<日 程> 11 月 20 日 (日)

<講 師> 寺澤ひろみ (複音ハーモニカ奏者) 内容の詳細、会場については未定

* 定員を超えた場合は、参加をお断りしますので早めに申し込み願います。

キャンセルされる場合は早目に連絡ください。当日のキャンセルについては、会費を頂戴しますのでご了承ください。

☆☆ ハーモニカ カレンダー ☆☆

2022年2月28日現在 関西ハーモニカ連盟 編集局

2022年 日時	主催者名・演奏会の名称(敬称は略)	会場・費用・お問い合わせ先
4月24日(日) 13:00~	全日本ハーモニカ連盟主催 ハーモニカ・フォーラム2022	東京都荒川区 ホテルラングウッド 当該ホームページを参照ください
4月25日(月) 10:00~	日本ハーモニカ芸術協会主催 総会と研修会と春のハーモニカ祭り	東京都荒川区 ホテルラングウッド 当該ホームページを参照ください
5月8日(日) 9:30~	ハモニ館主催 第23回 ハモニ館まつり	新大阪ココプラザ エクスプレス・ココホール 【問】 吹上晴彦 090-8482-4806
5月15日(日) 14:00~	関西ハーモニカ連盟主催 第1回研修会(講師:徳永誕生・有生)	大阪市中央区本町 愛日会館 有料 【問】 研修部 西本豪介 06-6785-7775
6月11日(土)	F.I.H.Japan主催 第40回 ハーモニカコンテスト 本選	東京都 全電通ホール 【問】 モリダイラ楽器 03-3862-1641
6月12日(日)	日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会 第34回 定期演奏会	阪南市立文化センター サラダホール 【問】 吹上晴彦 090-8482-4806
6月14日(火)	日本ハーモニカ芸術協会主催 公認指導員合格者コンサート	高松 レグザムホール 当該ホームページを参照ください
6月19日(日)	関西ハーモニカ連盟主催 ハーモニカ交流会	新大阪ココプラザ 参加費 有料 【問】 事業部 梁木進 090-8655-6045
7月3日(日) 10:30~17:00	H企画主催 梁木進ハーモニカ教室コンサート	新大阪ココプラザ 入場無料 【問】 梁木進 090-8655-6045
7月3日(日) 13:30~16:00	アルトフレンズ主催 第3回アルトハーモニカミニコンサート	大津市伝統芸能会館 (JR大津京駅) 入場無料 【問】 鐘ヶ江義行 077-594-1374
7月10日(日) 14:00~	関西ハーモニカ連盟主催 第2回研修会(講師:水野隆元)	西宮市民会館一階会議室 有料 【問】 研修部 西本豪介 06-6785-7775
7月16日(土)	徳永教室主催 徳永教室発表会	大阪市北区 ライブハウス E.S.アロー 【問】 徳永誕生 06-6934-7266
9月11日(日) 13:00~17:00	木原淳主催 第18回ハーモニカの集い	宇治市 ふりーすペーす宇治日和 入場無料 【問】 木原淳 0774-23-6631
9月24日(土)	日本ハーモニカ芸術協会主催 公認指導員合格者コンサート	日暮里ホール 当該ホームページを参照ください
10月15日(土) 10月16日(日)	関西ハーモニカ連盟主催 第32回関西ハーモニカ祭り	堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺 【問】 事業部 鐘ヶ江義行 077-594-1374
11月20日(日)	関西ハーモニカ連盟主催 第3回研修会(講師:寺澤ひろみ)	会場等詳細未定 有料 【問】 研修部 西本豪介 06-6785-7775
11月20日(日)	吉村教室主催 第13回吉村教室発表会	堺市北野田 フェスティバルプラットホール 【問】 吉村則次 072-251-9398
11月20日(日)	日本ハーモニカ芸術協会主催 複音ハーモニカコンクール個人・デュオ	当該ホームページを参照ください

(注)新型コロナウィルス感染防止対策のため入場制限、延期や中止になる場合があります。主催者に確認してください



関西ハーモニカ連盟主催

ハーモニカ交流会 2022

参加者

募集中

開催日：2022年6月19日（日）

※当日のスケジュールについては裏面をご参考ください。

場所：大阪ココプラザ（JR新大阪駅東口より徒歩約7分）

参加費用：昼食付き 会員3,000円・非会員3,500円

※懇親会は別途3,000円要。

申込締切：5月30日（月）

●お申し込み後、振込用紙と講座の申し込み用紙をお送りしますので、講座を選んでご返送ください。



様々な講習会をはじめ、参加自由のオープンステージも開催します。
終了後は懇親会を行います。どなた様もお気軽にご参加ください♪



「大阪市立青少年センター KOKO PLAZA」ホームページより引用



参加申込書

※用紙は切り取らず、必要事項をご記入の上このままFAXにて送付いただくか、下記項目をメールに記載してお送りください。

お名前：

ご住所：〒

お電話番号：

会員資格： 会員 非会員 ※いずれかに○をつけてください。

お問い合わせ・お申し込み先 (梁木 進)

FAX: 072-286-4890 電話: 090-8655-6045 メール: su.hariki@glayva.net

日程 事前にお好みの講座を選んでください。

時間	エクスプレス・ココホール(2F)	101教室(1F)	405・406教室(4F)	504教室(5F)
10:00 ～ 11:30	講座1 音楽学の講演① 講師:永原恵三先生 テーマ「アンサンブルは身体の動きで考えるフィジカル・シンキング」講師は、お茶の水女子大学名誉教授永原恵三先生(もっと楽しく演奏するには----のヒントを探しましょう) ウエルカム演奏は「ふるさと」講演を聞いてアンサンブル演奏。C Am調ハーモニカ持参	午前中101号室の講座はありません。	講師:北村サユリ スマートフォン、タブレット端末をハーモニカ練習に活用する方法。 持参品:スマートフォン、タブレット端末及び筆記具類	講師:中崎利枝子 「ふるさと」を題材にダンゴブロック、ベース奏法を指導。 20名予定。 持参品:複音ハーモニカC調、及び筆記具類
休憩	11:30～12:30			
	昼食 コロナ対策のため密にならない様に注意し食事ねがいます。			
12:30 ～ 14:00	講座4 音楽学の講演② 講師:永原恵三先生 アンサンブルグループの参加を期待しています。楽譜は用意しますが持ち込みも自由です。 各グループ毎に永原先生と問題点を探りながらアンサンブルを作り上げます。 C Am調ハーモニカ持参	誰でもステージ①前半 どなたでもどうぞ 初級・中級・上級向き 演奏する人&聞く人 参加申し込み不要 直接会場にお越しください。 クロマチック、複音、ソロ、アンサンブル、カラオケ1曲ずつ。	誰でもステージ②前半 どなたでもどうぞ 初級・中級向き 演奏する人&聞く人 参加申し込み不要 直接会場にお越しください。 クロマチック、複音、ソロ、アンサンブル、カラオケ1曲ずつ。	講座5 奏法(中上級) 講師:梁木進 「夕焼け小焼け」「春の小川」を題材に、岩崎重昭先生の奏法・大小ベース、歯切れのよい分散和音奏法を指導。 持参品:複音ハーモニカC Am調、及び筆記具類
休憩	休憩30分	休憩30分	休憩30分	休憩30分
14:30 ～ 16:00	講座6 コンサート 上級者又はアンサンブルのステージ、事前申し込み者優先します。飛び入りも大歓迎。 クロマチックハーモニカ、複音ハーモニカ上級者又は先生方のソロ演奏を聞いていただけます。 小アンサンブル、大アンサンブルの希望者の演奏もご自由に参加下さい。	誰でもステージ①後半 時間が許せば何ステージでもOK。他のステージで演奏もOK。入口の申込書を書いて順番をまつ。 ステージ①ステージ②の移動は自由ですが講座を受ける人は途中に入る事ができません。講座受講希望は事前にお申込み下さい。	誰でもステージ②後半 時間が許せば何ステージでもOK。他のステージで演奏もOK。入口の申込書を書いて順番をまつ。 ステージ①ステージ②の移動は自由ですが講座を受ける人は途中に入る事ができません。講座受講希望は事前にお申込み下さい。	講座7 ビデオ鑑賞 世話役:梁木進 (故)大石昌美先生のソロとピアノ伴奏のビデオを視聴いただけます。まさに指折りの名奏者です。いい演奏は大変な肥しになります。 持参品:不要
	16:30～18:30 懇親会 会費3,000円(予定) 場所は向かいのレストラン			

全員合奏は「この木なんの木」と「よろこびの歌」

=吉村教室合同発表会=

吉村 則次

2021年9月30日までは、オリンピック、パラリンピック、高校野球、大相撲の予定通り



2021年11月21日
第12回吉村クロマチック教室合同発表会
レット・イット・ビーの演奏

の実施にも拘わらず、緊急事態宣言が継続し、ハーモニカ活動も全くできませんでした。11月21日に予定していた「吉村教室合同発表会」は、やるかやらないかの決断を迫られたが、9月末から10月初めにかけてコロナ・ウィルスの新規感染者数が急激に減少し、9月末になって緊急事態宣言が解除され、明るさが見えたので、10月10日になって開催す

ることを決心しました。

教室の休講、練習機会の不足があったが、出演者募集をしてみると、多くの申込者があり、ステージに立って人前で演奏することへの強い熱情を感じられました。結局、教室外のかたの当日の飛び入り演奏6人を含め合計46人/組、延べ演奏曲数55、延べ演奏者人数120名(全員合奏の人数は含めず)により、堺市北野田フェスティバル、フラットホールで盛大に開催することができました。

この発表会では、いつも全員合奏をしていますが、今回は、2021年5月30日に亡くなられた小林亜星さんを追悼して、同氏作曲の「この木なんの木」と、年末にふさわしいベートーベンの「よろこびの歌」を3パート編成で演奏しました。

ゲストに岡直弥さんを、特別出演として、中村淑子さんと井上文さんをお迎えしました。遠くは、どういう訳か、東京都のかたが来られていきました。感謝感激。(コロナ感染拡大防止のために、来場者の氏名と連絡先を記入いただきましたので、正確につかむことが出来ました。)

皆さんのご協力、ご援助、ご支援により、盛大に開催できること、主催者として大きな喜びでした。参加者、来場者、PA係のかた、受付のかた、その他お手伝いいただいたかたに感謝申し上げます。なお、今年2022年は、11月20日(日)、同じ会場で開催するよう会場の予約をしました。



2021年11月21日、
第12回吉村クロマチック教室合同発表会
ひよこ会の演奏



2021年11月21日、
第12回吉村クロマチック教室合同発表会
ジーエルセブンの演奏

『3人のハーモニカ・ジョイント・リサイタル2022』を終えて

小野 浩子

年明けからまたもや出現、増加し始めたコロナで危ぶまれたリサイタルが 2022 年 1 月 9 日(日)、新大阪ココプラザ 2F エクスプレス・ココホールにて 13 時半から開催されました。(主催:H(エイチ)企画 後援:関西ハーモニカ連盟) 2020 年 6 月開催予定でしたが、コロナの影響を鑑み、3 回延期で、実に 4 度目の正直。



高阪他美子さん

と思いつつも心が萎えかけ、気持ちばかりが焦る、辛くて長い道程でもありました。モチベーションを何度もリセットされても快く出演して下さった気さくなゲスト、今回は一緒に出られなくなつたけれど応援に駆けつけて下さったかたがた、そして、「楽しみにしているよ、絶対聴きに行くからね。」と何度も日程調整。

温かい皆様の応援、お手伝い頂いたかたがた、音響、スタッフさんに支えられて実現

リサイタル
という夢の様
な企画に出演
させて頂くに
当たり、舞い
上がっていた
反面、練習し
ては延期・延
期の繰り返し。

7曲しっか
り練習せねば

致しました。

何よりも、『コ
ロナなんかに負
けないぞ・意地
でも開催して絶
対に成功させ
る!!』 主催者
の強い意志とド
根性に導かれ、

『最後迄頑張ろ
うね。』と励まし
合えた事は、とても心強い支えになりました。



小野浩子

♪観客の声♪

◇ほんま
にええ演奏、
大好きなええ
曲いっぱい聴
かせてもろた

◇皆さん素敵

だった、ドレスも綺麗かった、うまいこと化
けて 誰かわからんかった ◇ドミナントハ
ーモニカ(主要三和音が正しく出る)聴けて
良かった ◇ハーモニカの合間に違う楽器
(太鼓や津軽三味線や口笛の音)が入って



梁木進さん

余計に盛り上がって良かった ◇楽しんで
吹いてるのん観てたらこっちも楽しかった
◇圧巻、上手すぎるわ～、来て良かった、大
満足



こみたいなのがいっぱい。演奏後、顔や
腕から噴出する凄い汗を目撃。舞台も汗

でビッショリだ
ったらしいです



三味線シン・エリカさん

◇津軽三味線の
かた：気さくで
しっかり者、お
話上手。太鼓の
かたとお揃い新
調、忍者みたい
にかっこいい素
敵な和風衣装！

♪ゲストの裏話♪

◇口笛のかた：今風カジュアルルックで人
気者(松葉杖で着
替えが大変と恐縮
されてました)



口笛 萱野正夫さん

◇太鼓のかた：
腕が滅茶苦茶太
い。手はグローブ
みたいにでっかく
て手の甲側、指の
付け根にもペンだ



和太鼓 西島諒さん

フィナーレで三人が交代で吹いた村祭→
野花→収穫。精一杯の演奏を無事終えて安
堵、ほのぼのとした気持ちで満たされました。
これぞ達成感、収穫！！ありがとうございました。



ドレミちゃん
© 関西テレビ放送 2011

くらわんかカルテット

(21年間の演奏活動を振り返る)

リーダー 山本義信

この度、くらわんかカルテットは解散し、21年間の演奏活動を終えました。

4人の高齢化(平均81歳)やメンバーの罹患により、活動継続が困難となり解散を決めました。

私たちは、2000年に枚方ハーモニカ同好会のメンバーから4人、当時の宇佐美進先生(現四国ハーモニカ連盟会長他)のご指導で「河内口琴隊」というカルテットを結成。



2005年、その宇佐美先生の主催された西条市での「第二回

宇佐美ハーモニカ教室交流ハーモニカコンサート」(東京から斎藤寿孝さん、真野泰治さん、M.E.Q.さん他が参加)に出場させていただき、その時演奏した「河内おとこ節」が好評で、注目されるカルテットへの足がかりとなったことも忘れられない思い出です。

その後、高齢者福祉施設や自治会などでボランティア演奏活動を行なったり、単独コンサートを開催し、多くの皆様に喜んでいただきました。

中でも、2009年4月には「全国ハーモニカ演歌サミット」という前述の宇佐美先生らが企画された大イベントの大阪での開催を詳細企画・運営・出演しました。1400名のお客で満席・・・「戦後最大のハーモニカコンサート」との評価を受けました。

同年7月「河内口琴隊」(枚方ハーモニカ同好会所属)から、地元枚方にちなみ「くらわんかカルテット」と改名・独立。村上博昭先生(現関西ハーモニカ連盟常任顧問)のご指導を受けながら、結成時と同じメンバーで現在まで息の永い演奏活動を続けました。演歌・懐メロを得意とし、洋物も含めレパートリーは150曲…。昨年来のコロナ禍により活動休止の状態ですが、累計321回・164ヶ所で演奏、リピート47



左より：山本義信、伊藤憲司、森正昭、中村逸男のメンバー



回の施設もあります。また、地元テレビ(K-CAT)・ラジオ(FM ひらかた)にも出演しました。

このような活動により、2017年4月、全日本ハーモニカ連盟より「日本ハーモニカ賞」を受賞しました。

この賞は、全国でハーモニカの演奏活動をしているグループや個人に審査の上、毎年数組(人)に授与される賞で、ハーモニカを演奏している者にとってはたいへんうれしい賞です。受賞について、朝日新聞はじめ各メディアで紹介されました。



21年間、活動を続けられたのは皆様のご支援・ご指導の賜物と、メンバー全員心から感謝しています。

この度、残念ながらくらわんかカルテットは解散となりましたが、これまでの21年間の活動を振り返りますと“ハーモニカをやっててよかったなー”としみじみ感じています。皆様のご参考になれば幸いです。

「くらわんかカルテット」さんの思い出

宇佐美進先生が開設され、その後村上博昭先生が引き継がれた「枚方ハーモニカ同好会」は生駒ハーモニカ同好会（2004年に奈良県で産声）のお手本でした。毎年度末の研修発表会には奈良から枚方へ出かけました。2008年2月第1回阪奈ハーモニカ協議会合同発表会（門真市ルミエールホール）で同じ舞台に立ちました。その頃の枚方ハーモニカ同好会の大アンサンブルには吃驚し、憧れがMaxになりました。▼2009年2月の研修発表会では「河内口琴隊」を筆頭に「エーデル・ソアーヴェ」「のんびりアンサンブル」「ハーモニー・心」「サウンド・Buzz」、続く4月の全国ハーモニカ演歌サミット（枚方市民会館大ホール）では再び「河内口琴隊」そして愛媛から「音家」埼玉から「まりと殿様たち」千葉から「房総族」東京から「M・E・Q」と錚々たるグループと対面しました。生駒ハーモニカ同好会ではこれをキッカケにカルテットを結成するメンバーが出現、「ほろほろり」「青空」そして「河内口琴隊」にあやかろうと「IKOMAはもり隊」が誕生しました。▼2012年2月26日の第2回阪奈ハーモニカ協議会（生駒市サンホール：現たけまるホール）では尊敬する先輩カルテットの皆さんと初めて共演することが出来ました。その時には口琴隊は「くらわんかカルテット」に改名されました。この演奏会の実行委員長は「くらわんか」のリーダー山本義信さんで私達生駒同好会は山本さんのもとで総計167人の出場者と600人余の観客のお世話をしました。▼その後もハーモニカ祭り、定期演奏会、チャリティコンサート、各地におけるボランティア等、数え切れぬ演奏を続けてこられた「くらわんか」さんのご活躍を拝見出来なくなるのは寂しい限りです。「ありがとうございました」「お疲れ様でした」（岩本洋之）

第1回 全日本ハーモニカ演懐コンクールの実施

全日本ハーモニカ連盟 常任理事：梁木進

第1回全日本ハーモニカ演懐コンクール(決勝ライブ)を1月16日(日)に、大阪市立青少年センター(愛称ココプラザ)エクスプレス・ココホールにて開催いたしました。コロナ禍のなか、客席数を制限し3密を避け、会場ドアを開けて換気する等、ココプラザのコロナ対策ガイドラインに準拠し、無事に開催することができました。本コンクールはコロナ禍のため、2021年9月12日(日)の日程を取りやめて2022年へ延期にしました。出場者の皆様へ多大なご心配をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。今回運営できましたことは、関西地区ハーモニカ愛好者の方々及び関西ハーモニカ連盟会員の献身的なご支援によるものであります。主催元として本紙面をお借りし深くお礼を申し上げます。

関西圏のみならず、東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、愛知、岐阜、香川、徳島、佐賀等の都府県から予選を通過された方々が、決勝ライブに出場されました。部門別では複音ハーモニカソロ部門(11人)、クロマチックハーモニカ部門(10人)、小アンサンブル部門(7組・27人)となりました。審査は5人の先生方の最高得点と最低得点を除いて、3人の先生の採点を合計しました。

合計点数の高い順から、各部門1位、2位、3位の方々が表彰状とトロフィ

ーを授与されました。特別賞としては、クロマチックハーモニカ部門で、夜桜お七を演奏された岡直弥さんがグランプリ、同じく越冬つばめを演奏された熊谷みらさんがベスト艶歌賞、同じく防人の詩を演奏された神野仁子さんがパフォーマンス賞を授与されました。本審査結果は僅少差であり、出場者皆様の演奏は、非常にハイレベルあり、大変な接戦であったことを報告しておきます。決勝ライブ各部門の結果は、次頁の通りです。

全日本ハーモニカ演懐コンクールをもっと発展させるために、毎年開催することになりました。全国に募集し、年毎場所を変えての開催を考えております。2023年の開催は1月29日(日)に東京西日暮里のサニーホールに決定しました。本年夏頃(未定)に募集を開始、10月には決勝出場者を決めます。早めの準備をお願いいたします。

最後にコンクール実施にあたり多岐にわたるご協力・ご尽力を賜りました関係各位へお礼を申し上げます。



表彰者の皆さん

第1回 全日本ハーモニカ演懐コンクールの結果

順位	氏名／グループ名 (都道府県)	曲名
----	-----------------	----

第1カテゴリー 複音ハーモニカソロ部門

1位	柴山真由美 (愛知県)	夜桜お七
2位	丹羽悦子 (神奈川県)	氷雨
3位	小野俊子 (愛知県)	土佐の幻想

第2カテゴリー クロマチックハーモニカ部門

1位	岡直弥 (大阪府)	夜桜お七
2位	熊谷みら (兵庫県)	越冬つばめ
3位	神野仁子 (東京都)	防人の詩

第3カテゴリー 小アンサンブル部門

1位	Cha-Di-LA (滋賀県)	星降る街角
2位	レディ一ハモニカ (兵庫県)	青い山脈
3位	ハーモニカアンサンブル奏楽 (徳島県)	シクラメンのかほり

特別賞

グランプリ	岡直弥
ベスト艶歌賞	熊谷みら
パフォーマンス賞	神野仁子

第1カテゴリー 複音ハーモニカ 部門



第1位 柴山真由美さん



第2位 丹波悦子さん



第3位 小野俊子さん

第2カテゴリー クロマチック ハーモニカ部門



第1位&グランプリ
岡直弥さん



第2位&ベスト艶歌賞
熊谷みらさん



第3位&パフォーマンス賞
神野仁子さん

第3カテゴリー 小アンサンブル 部門



第1位 Cha-Di-LA
の皆さん



第2位 レディ一ハモニカ
の皆さん



第3位 ハーモニカ
アンサンブル奏楽の皆さん

第1回 演懷コンクール受賞者の言葉

グランプリを受賞して

岡 直弥

演懷コンクールに出場し、クロマチックハーモニカ部門で第一位とグランプリを受賞する事ができ大変光栄です。記念すべき第一回で結果を残せて安堵しています。国内のコンクールでは高校時代に出場した東京の F.I.H.ハーモニカコンテスト以来だったので、長年のブランクもあり、ステージに上がった時は流石に緊張しました。

コンクールでは坂本冬美さんの「夜桜お七」を演奏させて頂きましたが、自分のアレンジで審査員の方々に評価して頂けた事が大変嬉しかったです。現在は指導する立場ですが、このコンクールに出場して改めて初心に戻れたと感じております。

私にとってこの第一位とグランプリを受賞できたのはご指導して下さった吉村則次先生や徳永延生先生、そして今まで支えて下さった方々のお陰でこの素晴らしい賞を受賞する事が出来たと思います。この場をお借りして感謝申し上げます。この結果に甘んずる事なく、グランプリを糧にして更に精進して参ります。

今後はクロマチックハーモニカを広めていき、微力ながらハーモニカ界に貢献できるよう演奏活動していきたいと思います。今後も演懷コンクールが益々のご発展する事を祈念いたします。（クロマチックハーモニカ奏者兼講師）



第一回 演懷コンクールに出場して

熊谷 みら



「演懷コンクールに出るねん」と友達に言うと「何なん? それ?」と全員から聞かれました。私自身もよく知らなかった演歌の世界です。でもこのコンクールのお陰で、演歌の曲数の多さと、それぞれの歌手の上手さを知ることができました。その中から一曲を選び出す作業は大変だろうと心配しましたが、大丈夫でした。森昌子さんの歌う「越冬つばめ」を聴いた瞬間に、私がハーモニカで表現したいのはこの曲だ! とすぐにイメージが湧きました。歌詞がなくても、この曲の切なさやダイナミックさを表現できるように演歌歌手の歌い回しの技を研究し、

とてもよい勉強になりました。演奏した結果、副賞として「ベスト艶歌賞」をいただきました。これも友達に報告すると、「何なん？その賞？」と全員から聞かれました。私も初めて聞く単語でしたが、「越冬つばめ」の心をハーモニカでうまく表現できた賞と理解しています。演歌ではなく艶歌なのは、「もしかしてこの私が艶っぽかったってこと？」と言うと「それはないやろ」と全員から否定されました。素晴らしい曲に出会えたお陰だと思います。今年は、高校の文化祭で演歌（艶歌）を吹いて、友達の反応を見てみようかなと思います！

「防人の詩」で賞を受賞して

神野 ヒトコ

第一回目コンクールに誠に栄えある賞を頂き光栄に存じます。

演奏しました「防人の詩」は—

私はあまり日本の歌謡の音楽は知らないのですが、私の師匠である徳永延生先生が舞台で演奏したのを目の当たりにした時、感銘した曲です。涙が流れました。

私はハーモニカの吹吸は呼吸そのものであり、出てくる旋律は私の言葉なのだと考えているふしがあります。曲をハーモニカで取り掛かる前に日本語のさだまさし氏のこの歌を唯ひたすら聴きましたが、この歌詞が心に重くのし掛かりました。感銘を受ける時、人はそれぞれ自分の軌跡を振り返り、重ねます。

今回、私のこれまでの道程を「さだまさし氏の防人の詩」というメロディでハーモニカというフィルターを通して語ったつもりです。そして私の場合はハーモニカだけでは言い尽くせない部分が身体から放出されるのだと思います。これらが、各々の心の中にある防人の歌のイメージに共感していただけたのだと思います。

【わずかな生命のきらめきを信じていいですか】

言葉で見えない望といったものを
去る人があればくる人もあるって
かけてゆく月もやがて満ちてくる
なりわいの中で—

このフレーズを心のどこかで信じている私がいます。だから明るい希望があります。
この度は、聴いて貰うばかりか、二つの賞までも頂き大変ありがとうございました。



第1回 全日本ハーモニカ演懐コンクールに出場して

柴山 真由美



この度は、記念すべき第1回演懐コンクールにおいて、複音ハーモニカソロ部門第1位を受賞することができ、大変光栄です。これまでクロマチックハーモニカでのコンクール挑戦はありましたが、複音ハーモニカでは初めての挑戦でした。また、今回の演奏曲「夜桜お七」は、自分で編曲をしての演奏であったため、思い入れが深く、より一層喜びも大きいです。

コロナ禍の中、コンクールを開催していただけたことに心から感謝するとともに、この受賞に恥じないように今後一層の努力を重ね、聴いていただける方の心に残る演奏ができるよう頑張っていきたいです。

私達、遠距離アンサンブルです！

この度私達「Cha-Di-LA（チャディラ）」は第一回演懐コンクールにて「星降る街角」を演奏させていただき、光栄なことに小アンサンブル部門で一位を頂きました。グループ名は Cha=クロマチックハーモニカ Di=ディスタンス（距離）LA=レディースアンサンブル、という意味で、遠距離在住メンバーによるアンサンブルです。

元々は徳永教室の門下生の「チーム♪レディクロ」として2019年より活動してまいりました。メンバーは現在9名、今回の応募にあたって小アンサンブル部門が6名までということで、2チームに分かれて応募いたしました。結果、もう1チームの「レディーハモニカ」が「青い山脈」で2位を頂き、大変嬉しく光栄に思っております。



メンバーは関西は大阪、兵庫、滋賀、そして千葉と福岡・・と遠距離ですので、オンラインを駆使して練習に励みました。しかし最初から皆がパソコンの扱いが得意だったわけではなく、お互いに教え合いながら、協力しながら、またそれぞれに仕事や子育て、介護、家事や家庭の事情を抱える中、助け合い、理解し合いながら、そして何より明るく楽しく仲良く取り組んできました。本番ではすぐそばに仲間がいて、その生の音や息づかいを感じながら演奏できて、本当に幸せなひとときでした。

熱心にご指導下さった徳永延生先生、応援して下さった皆様、そしてこのコロナ禍でもコンクール開催を実現して下さった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

第1回 全日本ハーモニカ演懐コンクールを聴いて

横浜から来場・・・、次回も楽しみ

横浜市在住 竹下暢彦

1月16日（日）新大阪KOKO PLAZAで開催された全日本ハーモニカ連盟主催の「第1回全日本ハーモニカ演懐コンクール」に私が所属するハーモニカアンサンブルのメンバー初め関東から何人かのハーモニカ仲間が予選を通過し出場したので、コロナ禍の中で家人の目を気にしながらも思い切って聴きに行きました。帰宅した翌日から東西ともオミクロン株急拡大で遠出が危ぶまれるところでしたが聴き応えのある一日でした。

今までにも随分ハーモニカのコンサートを聴きに行きましたが、演歌・懐メロに演奏曲を限定した会場は初めてだったのでとても新鮮でした。さすがに予選を通過した皆さんとあって先生方のスーパーライブに引けをとらない素晴らしい演奏でした。

一方で私の懐メロに対する概念の古さを痛感いたしました。私の懐メロの中心である所謂古賀メロディーが全くなく「悲しい酒」も古賀メロディではありますが、美空ひばりさんの涙ながらの舞台の印象が強く懐かしさを呼び起こすまでにはいたりませんでした。これから懐メロは戦後昭和歌謡が中心になることでしょう。次回が楽しみです。

第1回 全日本ハーモニカ演懐コンテストを聴いて

松本孝司

「複音ハーモニカ」「クロマチックハーモニカ」「小アンサンブル」の3部門で予選を通過した皆さんがそれぞれのテクニックを競いました。

複音ハーモニカ部門では「これぞ演歌」「これぞハーモニカ」という昭和歌謡満載でした。演奏を聴いていると、ここはこういう風に、ここはなめらかに、ここではしっかりためて奏するんだと教えられることが沢山ありました。もちろんテクニック、感情も素晴らしい。

クロマチックハーモニカ部門は演歌がこんなにドラマチックに変身するとは思ってもいませんでした。メインテーマにクロマチック的な奏法がこれでもかと入り、アドリブは輝くような、踊りだすような感覚です。演歌が古いもの、若者には受け入れられないという事を吹き飛ばすようでした。

小アンサンブル部門では、1st、2nd、バス、コードの4人編成、デュオのさすがに息の合った演奏でした。セカンドがしっかりとオカズ（演歌はこれが大事ですね）を入れて、バスがコードとともにリズムを刻みながら、メロディ部分も吹いて、全体に厚みのある演奏っていました。デュオも掛け合いの妙、ハーモニーを奏でて素晴らしい演奏でした。

次の開催も決まっており、私は複音ハーモニカを主にやっていますが、小アンサンブルも挑戦したいと思います。

オンラインイベント

「3教室合同新春オンラインお雑煮会～お正月ハーモニカ談義～」レポート

北村サユリ

1月3日に、大阪の矢木秀行教室、岡直弥教室との合同でZOOMを使用したオンラインイベントを開催しました。この頃はコロナ感染者数も少なく外出の予定が入っておられる方も多かったようですが、三が日の午前中にもかかわらず10名以上の方がご参加くださいました。

これまでのオンラインイベントでは、主に講師が話し、参加者は聞き手にまわることが多かったのですが、今回は参加者の方にも気軽に会話を楽しんでいただくことができるよう、いくつかの工夫をしました。

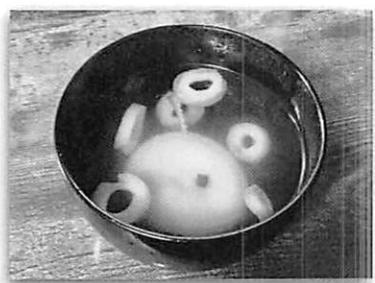


まずは、お正月ということでみなさんのお宅のお雑煮を紹介していただきました。事前にお送りいただいた画像を、ZOOMの画面共有機能を使って見ていただきました。いろんな地方のお雑煮を見て、説明を聞くことができ、とても興味深かったというご感想を複数いただきました。

お雑煮の話題でアイスブレイクをしたあとは、ハーモニカの話題です。今回はじめて、ZOOMのブレイクアウト機能を使用し、ルームを3つに分割してそれぞれのルームでハーモニカに関するお題について自由に意見交換をしていただきました。

4～5名ずつにわかれ、一つのお題につき15分間話をしていただきました。一つめのお題は「クロマチックハーモニカをはじめたきっかけについて」二つめは「あなたの愛用機種は？」でした。

私はホスト役でシステム上ブレイクアウトルームには入れず様子はわからなかったのですが、あとでみんなに伺うと、少人数だったので話がしやすかったことや、はじめて出会う方のお話を聞くことができて楽しかったとおっしゃっていました。



また、今回は希望される方に演奏動画をご提供いただき、画面共有してみなさんに聴いていただく時間を設けました。ご自身でYouTubeに投稿されている動画やレッスンの時に撮影したもの、今回のために撮影と編集をご自身でされた方など様々でした。中には、アンサンブル譜を描かれてDAWソフトで多重録音された方もいらっしゃいました。

当教室では、希望される方にはDAWソフトでの録音や動画編集のレッスンも行っており、演奏だけでなく録音や編集を発表する場にもなったのではないかと思います。

他にも、参加者の方のご質問に講師がお答えしたりなどし、2時間があつという間でした。参加者の方からは「楽しかった」「講師や参加者のみなさんと話ができるよかったです」「また企画して欲しい」「盛りだくさんで贅沢な2時間でした」などのご感想をいただきました。



まだしばらくリアルでのイベントを気軽に開くことが難しい状況が続きそうですし、また、オンラインにすることで遠方の方も気軽にご参加いただくことができるという利点もあると思います。ホスト側にZOOMやパソコンの音響面での知識が多少必要ではありますが、今回の私たちの取り組みが少しでもお役に立てましたら幸いです。ありがとうございました。



※使用している画像は全て参加者のみなさんの許可をいただいております。ご協力いただき、ありがとうございました。

<<<れんめいひろば>>>

れんめいひろばでは、ハーモニカに関する「お役立ち情報」「教えて欲しいこと」「是非、紹介したい事」等の投稿を募集するとともに、「つぶやき」コーナーも設けております。皆さんに語りかけたいことなどを簡潔にまとめてご寄稿ください。投稿者氏名と希望するタイトルを付けてワード文書をEメールに添付して編集室へお送り下さい。但し、原稿内容やページ数の都合で全て掲載されるとは限りません。

アンケート

◎家族一緒に歌える曲を教えて下さい。昔の思い出でも結構です。

西洋では、誕生日は「ハッピーバースデイ」クリスマスは「聖夜」が決まりですが、家庭によってはそれ以外でも必ず歌う曲もあるようです。ところ変われば歌も変わる。子供達と一緒に歌える歌が沢山有れば楽しいですね。

徳永教室第52回発表会（吉村 則次）

第52回の徳永教室発表会は、新型コロナの第6波の新規感染者が急上昇する中の2022年1月15日、大阪市北区のライブハウス・ボニーラにて決行された。

いつものように出場者は、千葉県から九州・四国まで広範囲に亘っていた。今回は、コロナ感染拡大防止のため、入場は演奏者とその家族に限られていたので、会場はやや静かに、しかし演奏はある時は激しく、盛大に演奏された。



チームレディクロ 8名による「赤とんぼ-め組のひと」
2022/1/15 第52回徳永教室発表会にて

プログラム数47。素晴らしいピアノ、ベース、ドラムスで構成されるトリオの生バンドにあわせて、ソロ、デュエットから8人のアンサンブルまで、ジャンルの異なった曲が演奏された。



COOP アンサンブルの「恋のバカンス」
2022/1/15 第52回徳永教室発表会にて

プログラム47のうち男性は14、女性が33、したがって7割が女性という状態で、男性の私としては少し寂しかった。なお、演奏者の中から多くのかたが、翌日に開催された全日本ハーモニカ連盟主催の「演懐ハーモニカコンクール」(新大阪ココプラザ)にも出場されており、偶然か意図的にか知りませんが、遠くからの参加者は2回来るのが1回ですみ、交通費を節約できたようです。

発表会の演奏は、次の徳永延生さんのホームペ



若いSHURA(熊谷みらと山崎朱音)による「青春の日々」
2022/1/15 第52回徳永教室発表会にて

ージで見ることができます。

西日本ハーモニカコンテスト優勝の熊谷みらさんのも、私のも、見ることができます。

<http://www.tokunaga-sound.com/>

ステージの天井の高さ、集合住宅の9階分 (吉村 則次)

練習のときは他の人の音が良く聞こえるのに、ステージに立つと聞こえなくなり、演奏がガタガタになることがあります。

普通練習場として使う鉄骨・鉄筋の建物の部屋では、天井の高さは3メートルないし4メートルぐらいであり、また、壁も近くにありますから、それらから音が跳ね返って来ますから、他の人の音も聞こえるわけです。

ところが、大ホールになると、フェニーチェ堺大ホールの場合を例にとると、ステージから額縁(プロセニアムといいます)の上の線までの高さが12.5メートル(写真参照)、



フェニーチェ堺の大ホール
額縁の上までの高さが12.5メートル

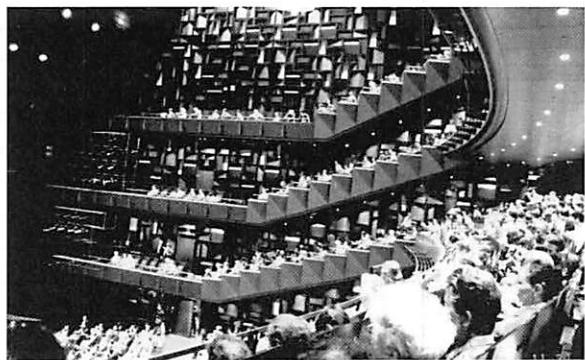
更に客席から見えないところに空洞があり、天井(「すのこ」とか「ぶどう棚」と呼ばれ、いろいろなものを吊り下げるバトン(棒)がある)までの高さはステージの床面から28.0メートルもあります。実に9階建ての集合住宅の高さに当たります。

緞帳等は、ロールケーキやバームクーヘンのように「巻き上げられる」と思っておられるかたが多いと思いますが、そうではなく、そのま

まの姿で上に引っ張り上げられています。(例外はいつもあります。)

したがって、それを格納する高さが必要なのです。緞帳が高さ13メートルなら、更に13メートル以上が必要です。緞帳以外にも、背景や大道具というものも吊るされます。

ですから、大ホールのステージに立つと、音



フェニーチェ堺の大ホールの客席は
4層2000名です。

は上下左右・四方八方に散らばって行きますので、隣の人の音も聞こえにくくなります。

今年10月15~16日に我々の関西ハーモニカ祭りが開催されるフェニーチェ堺は、大ホールではなく、小ホールですから、ステージの天井までは5.4メートルないし7.4メートル、マンション2階分ぐらいですから、大ホールみたいなことはないと思います。

しかし、ステージの幅が12.5メートルですから、1列に並ぶことができる人数は、並び方にもよりますが、15人ぐらいと考えられますから、大人数のグループは、2列3列に並ばなければならないかも知れません。

オーケストラの演奏のときのように「音響反射板」をつけると、演奏者相互にも客席に対しても、音は聞こえやすくなりますが、出入口が非常に狭くなったり、マイクの出し入れが困難になったりします(音響反射板をつけるとマイクはつけないのが常識)から、関西ハーモニカ祭りのように、大人数が出たり入ったりするタイプの演奏会には、音響反射板は不向きです。

会員異動のお知らせ（2022年4月号）

2022.02.15日現在

組織部長 丸山茂生

当連盟では名簿を公開していますが、本人の申し出があれば個人情報（住所・電話番号等）を非公開に出来ることが、2004.7.12の常任理事会で決議されました。また、2014.8.28常任理事会で、会員異動のお知らせの住所表示は市区名までにすると決まりました。会報227号（2022年1月号）でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。（敬称略）

（個人会員入会）

通番	会員番号	氏名	〒	住所	受付日
1	740	井上富貴子	630-	生駒市	2021.12.24
2	741	大窪 純子	<非公開>		2022.01.19
3	742	横山 道子	<非公開>		2022.01.27

（団体入会）

団体番号	団体名	会員数	代表者
100	垂水ハーモニカ友の会	16	渋山晴夫

（2022年度：団体会員登録）

通番	団体番号	団体名	代表者	会員数	受付日
1	3	NHK神戸マリンハーモニー	吉村 望	11	2022.01.19
2	5	音大アンサンブル	森本 一正	6	2021.12.23
3	6	向日ハーモニカクラブ	西谷早葉子	7	2022.01.17
4	8	もみじ～ず	山本 和子	8	2022.01.15
5	9	ディアハーモニカサークル	高山美千代	18	2021.12.31
6	10	朝日カルチャー川西	福田 徹士	7	2021.12.23
7	12	中之島サンサンス	須那 陽彦	15	2022.01.17
8	13	わかくさハーモニカ アンサンブル	明山 次夫	10	2022.01.24
9	17	コーポこうべアンサンブル	富久 鉄男	5	2022.01.10
10	24	ハーモニカソングアンドーネ	新井 尚子	11	2022.01.12
11	27	甲風アンサンブル	道下 正裕	6	2022.01.10
12	30	朝日カルチャー中之島アンサンブル	大西 素子	5	2022.01.14
13	31	ハーモニカアンサンブル生駒	高比良啓子	10	2022.01.24
14	33	尼崎ハーモニカエコーズ	雑賀 健	22	2022.01.24
15	35	伊丹ハーモニカフープ	森園かおる	6	2022.01.17
16	40	ハーモニカ・ソサエティ with YOU	源馬 英人	10	2022.01.06
17	41	西神戸ドリームプリッジハーモニー	松元 孝一	14	2022.01.24
18	42	枚方ハーモニカ同好会	中村 逸男	14	2022.01.19
19	43	茨木ハーモニカクラブ	仁田 明子	12	2022.01.10
20	46	堺ハーモニカ・アンサンブル	吉村 則次	10	2022.01.15
21	48	寝屋川ハーモニカアンサンブル	梅沢 審夫	6	2022.01.24
22	50	門真ハーモニカメドレー	五嶋テル子	6	2022.01.21
23	57	ハーモニカ同好会いかるが	岩本 洋之	12	2021.12.24
24	58	高阪教室・コーポカルチャー塚 口	山本 博子	5	2021.12.25
25	64	高槻ハーモニカクラブ	小林 肇	6	2022.01.21
26	70	グッド フェロウズ・ハーモニカクラブ	森浦 和子	6	2021.12.28
27	74	NHKガーデンズ	松本千佳子	8	2021.12.27
28	75	夢々くらぶ	北川 淑子	5	2022.01.12
29	80	ヤンタン狭山教室	米田 雅洋	15	2022.01.12
30	81	ココカラザ公開レッスン教室	小野 浩子	17	2022.01.29
31	82	大東ハーモニカクラブ	池元 正秀	10	2022.02.02
32	84	おの・協同学苑アンサンブル	高阪他美子	8	2022.01.23
33	89	まほろば	青木 鈴子	13	2021.12.27
34	91	ハーモニカアンサンブル ゆう・もあ～ず	阿部 審康	12	2021.12.24
35	94	ふれあいハーモニカ・島本	小林三岐子	13	2022.01.13
36	99	生駒ダ・カーポ	吉田 庸予	5	2022.01.28
37	100	垂水ハーモニカ友の会	渋山 晴夫	16	2021.12.20
		合 計		370	2022.02.15

（団体名変更）

通番	団体番号	(新) 団体名	(旧) 団体名	受付日
1	43	茨木ハーモニカクラブ	茨木ハーモニカファミリー	2022.01.10

（団体代表者変更）

通番	団体番号	団体名	(新) 代表者名	(旧) 代表者名
1	31	ハーモニカアンサンブル生駒	高比良啓子	藤田美佐子
2	35	伊丹ハーモニカフープ	森園かおる	小林 均

(住所・~~番号~~番号等の変更・訂正)

通番	個人番号	氏名	住所・電話番号の変更
1	693	柴田 三雄	(番号 電話番号変更) 090-8202-9669
2	274	田口 幸輝	(番号 電話番号変更) 080-5321-4088
3	689	松井 努	(番号 電話番号変更) 090-4767-4937

(個人退会)

個人番号	氏名	理由	受付日
1 333	和田 栄子	自己都合	2021.12.27
2 389	原田 和春	自己都合	2021.12.27
3 387	道下 雅之	自己都合	2021.12.27
4 443	山口 昌代	自己都合	2021.12.28
5 474	壁谷 艶子	自己都合	2021.12.28
6 643	清水とも子	自己都合	2021.12.29
7 566	浅井 瀧子	自己都合	2021.12.29
8 466	米田 雅洋	自己都合	2021.12.30
9 243	中西富佐男	自己都合	2022.01.01
10 385	宮崎 久美	自己都合	2022.01.04
11 736	駒野 恵子	自己都合	2022.01.04
12 730	中川 富子	自己都合	2022.01.06
13 438	梅田 細見	自己都合	2022.01.12
14 547	尾崎 雄三	自己都合	2022.01.21
15 734	小飼 賢治	自己都合	2022.01.21
16 737	久曾神まつ枝	自己都合	2022.01.31
17 400	村田 利彦	自己都合	2022.02.01
18 728	深沢 充代	自己都合	2022.02.01
19 224	岡 ヒサ子	自己都合	2022.02.04
20 654	友永久美子	自己都合	2022.02.04

(団体退会)

団体番号	団体名	代表者	受付日
1 15	生駒ハーモニカ宇宙の会	北岡 美知	2022.01.05
2 90	るんるん・ポケット	鈴 末治	2022.01.05
3 66	奈良カルチャーセンター	間永 進	2022.01.21
4 16	山麓ハーモニカクラブ・生駒	森井 俊治	2022.02.02

2022.02.15現在の個人・地域外個人・準・賛助・特別の合計206名、団体会員は370名(37団体)です。

お願い；個人会員の入会・退会、団体会員の入会、住所・住居表示・電話番号・市外局番等
名簿記載事項の変更は必ず組織部へお知らせ下さい。

編集局より

- 編集局では1月号を発行後、2月15日に文書総会にあたる臨時号を発行しました。
引き続いての本228号(4月号)の発行にあたりましては、オミクロン株という新型ウイルス蔓延が
拡大する中、編集会議もままならず、簡易版としての発行を選択いたしました。
- 1月に第1回演懐コンテストが大阪で開催された後、このコンテストの感想や写真などをたくさん
お寄せいただきました。お礼申し上げますと共に、掲載できなかつた方々にはお詫び申し上げます。
- 2月という短い1ヶ月の間に上記作業の他に関西ハーモニカ連盟のホームページのリニューアルを行いました。様々な反響が寄せられていますので報告いたします。まだご覧になっておられない方
は是非下記にアクセスしてくださいますようお願い致します。

関西ハーモニカ連盟 公式ホームページ <https://kansai-harmonica.org/>

次号締切り日のお知らせ

Harmony 第 229 号 (2022 年 7 月号)

原稿締切りは 5 月 21 日 (土) 会報編集室必着でお願いします

同封物締切りは 6 月 11 日 (金)

発行は 6 月下旬の予定ですがコロナ事情により変動する場合が有ります

関西ハーモニカ連盟 228 号 (2022 年 4 月)

発行人 吹上 晴彦

編集人 もり・けん

発行所 関西ハーモニカ連盟会報編集室

〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2 F

e-mail: kansai.harmonica@gmail.com

公式ホームページ: <https://kansai-harmonica.org/>

印 刷 株式会社カード & メディア

